

Yori
Dori
Midori
よりのどりみどり

てるひめ
**豪華絢爛な時代絵巻「照姫まつり」の
主役3役が決定！
～信州上田真田丸も出陣！～**

と き 2月1日(月)発表

5月22日に開催する第29回照姫まつりの主役3役が決定した。1月31日、練馬区役所(豊玉北6丁目)で第29回照姫まつりの主役3役を決めるオーディションが行われ、29代目となる照姫の座には、区内在住の中学3年生、平田 ころこ(ひらた ころこ)さんが、16名の候補者の中から、スピーチや演技などの審査を経て選ばれた。平田さんは「照姫のような芯の強い女性を演じられるように頑張りたい。」と照姫を演じる決意を語ってくれた。豊島泰経役には、黒田 哲也(くろだ てつや)さん、奥方役には、大森 貴恵(おおもり きえ)さんが選ばれた。



【今年の主役3役】

同まつりは、5月22日(日)に都立石神井公園とその周辺で開催する。

また当日は、区の友好都市で今年の大河ドラマ「真田丸」の舞台である長野県上田市から、真田の赤備えの甲冑隊や真田陣太鼓が参加するほか、上田市の物産品販売や観光PRでまつりを盛り上げる。

【照姫まつりとは】

照姫まつりは、室町時代の石神井城主豊島泰経とその娘「照姫」にまつわるまつり。照姫は、室町時代中期に石神井城を本拠地とし、栄華を極めていた豊島泰経(としま やすつね)公の娘として語り継がれている。戦乱の中、泰経公は宿敵太田道灌(おおた どうかん)に攻め滅ぼされ、現在の石神井公園にある三宝寺池に飛び込んだ。愛娘の照姫は、泰経公の最期をみると悲しみのあまり自らも池に身を投げ、命を絶ったと言われている。

【最大の見どころは「照姫行列」】

照姫まつり最大の見どころは、照姫、泰経公、奥方を中心に、華やかな衣装の照姫や勇ましい武者にふんした約100人が石神井公園周辺を練り歩く照姫行列。石神井公園内の野外ステージで行われる出陣式は、泰経公の掛け声で家臣たちが「エイエイオー！」という勇ましい闘(とき)の声をあげる様子や、照姫や奥方等の美しい舞に会場は大いに盛り上がる。

【長野県上田市との連携】

区の友好都市で、今年の大河ドラマ「真田丸」の舞台である長野県上田市から、真田の甲冑隊が照姫行列に参加。石神井公園駅南口広場の特設ステージでは信州上田真田陣太鼓保存会がまつりを盛り上げる。また、上田市の特産、名産品の販売も行われる。



【昨年の照姫まつりの様子】



【真田の甲冑隊】



【信州上田真田陣太鼓】



【昨年の照姫行列の様子】

【問い合わせ】練馬区 商工観光課 まつり係 電話 03-5984-2389